

所沢市議会議員 谷口まさのり 発行

ツイッターは以下へ  
谷口のつぶやきを発信！

## 谷口まさのり 所沢市政レポート

『2013年3月議会報告編 / 5 / 26(日)市政報告会編』

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111 / FAX：04-2941-5112

・メール(パソコン): [tani.eco@dream.ocn.ne.jp](mailto:tani.eco@dream.ocn.ne.jp)

・ツイッター: [twitter.com/#!/taniguchi1965](https://twitter.com/#!/taniguchi1965)

ツイッターは頑張って更新しております!! ・ホームページ:『谷口まさのり』で検索ください。



谷口まさのり

次回市議選は『議員定数3名削減』での選挙となります。(賛成討論で登壇)  
H25年度一般会計予算(889億円)、特別会計、事業会計を合わせた合計で  
1,648億円の予算が可決(新規事業は1,000kW以上のメガソーラー等)  
ジェネリック(後発医薬品)切り替え時の差額通知が実現!  
ゴミ処理コスト削減に向けた提言(東部クリーンセンター法定『等』点検費用)

私、谷口は3月議会において、議案に対する質疑、一般質問、討論で発言致しました。  
詳細は中継録画で見られます。(『所沢市議会』で検索 『所沢市議会 録画中継』  
『定例会3月』 3/1質疑、3/7一般質問、3/26議員定数実質削減条例への討論)



身を切る改革

### ■ 議員定数 実質3名削減の条例が可決

初当選直後の、一昨年(2011年)6月の議会運営委員会(議運)で、私、谷口自身が『地方自治法改正に伴い地方議員定数の上限が撤廃された。所沢市において、議員定数について議論すべき』と問題提起し、今期正式な議題として取り上げられました。その後、附属機関である『所沢市議員定数のあり方に関する審議会』を設置(この設置について、私としては議論を前に進める為に妥協)、審議会から以下の答申(H24年11月)を受けました。(要旨)

1. 現在の定数36名は他の同じ人口規模の市と比較して、大幅に多くも、少なくもない。
2. 一常任委員会当たり現在9名での4常任委員会体制が望ましく、また議長は常任委員会に入れられない方が適切で、あるべき定数は37名である。
3. 尚、現状よりも定数を削減することによって、行財政改革に対する議会としての強い政治姿勢を示すことが期待され、政治判断としては33名もあり。(この場合は、一常任委員会8名構成で、4常任委員会体制、議長を加えて計33名  $8 \times 4 + 1 = 33$ )

上述答申を受けて今回の条例改正素案(本則37名、附則で33名とし、実質的に3名削減)が議運で作成され、パブリックコメント、公聴会を経て、今回3月議会で賛成多数で条例が改正されました。(3月26日) よって、次回選挙(H27年4月予定)では、定数が3名削減され33名になります。私自身、平成23年4月の選挙では、議員定数36名を3回の選挙で(4名ずつ3回で計12名)24名への削減を提言したこと、また改正案本則上は37名になること等により、非常に、じくじたる思いで改正案に対して逡巡致しました。しかしながら、現状よりも前に進めるという観点で本案に賛成の立場を取り、また過半数の賛同を得なければ、削減方向に一歩たりとも進まないという現実を直視し、議員定数削減という同じ思いの議員メンバーと多数派工作を直前まで行いました。可決されるかどうかはまったく読めない状況でしたが、最終的に記名投票に決定し、条例案の可決に至りました。(議長を除く35名中、27名賛成) 尚、当選直後からの私の動きと今回の結果についての評価は有権者の皆様に委ねたいと考えます。(3名削減で諸経費含め年間3,100万円程度の費用削減と想定)

## ■ ジェネリックへ切り替えた場合の差額通知が実現（議案質疑）

一昨年9月議会一般質問で、医療費抑制(所沢市国民健康保険特別会計)を念頭に、先進的事例である広島県呉市のジェネリック(後発医薬品)に切り替えた場合の患者負担『差額通知』実施を引き合いに出し、所沢市においても実現すべきと政策提言致しました。

そして今回、平成25年度から『差額通知』を行うことが決定致しました。仮に1%切り替えが進めば、市の上記特別会計で、1,500万円の費用削減につながる予定です。(所沢市は現在数量ベースでジェネリックは28%)



## ■ 東部クリーンセンター(清掃工場)の法定『等』点検内容の見直し提言(一般質問)

現在、所沢市において、東・西2ヶ所の清掃工場でのゴミ処理は、東部が年間約20億円、西部が年間約10億円と非常に多くの費用をかけて行っております。(これ以外に、ゴミ収集運搬その他で大きな費用がかかっており、昨年6月議会で、私は収集運搬の民間委託を現在の33%から段階的に2倍にすることにより、年間コストが4.2億円削減できるのでは?と提言済み。ただし、現在の職員の他部門への異動等も合わせて必要)

今回はその中で、【焼却施設法定『等』点検業務委託料】(年間約3.2億円)に着目し、点検『頻度』について減らせることができるのでは?との観点から点検内容について環境クリーン部長に質問致しました。(要するに、点検内容が頻度を含めて、フルコースのような豪華な内容になっていないか?ということ)

答弁より、法律上必ず実施しなければならない法定点検は上述約3.2億円中の38%、法定以外点検は62%の金額割合となっていることが明らかになりました。また法定以外の点検は実質的にはメーカーの自主基準的な部分が多く、昨今の清掃工場等の大型プラントのビジネスモデルは、建設費で稼ぐだけでなく、その後のランニング部分のメンテナンス業務等でも稼ぐ方式に重点化していることを指摘し、コスト削減に向けた提言を行いました。(ここは関心をもって言い続けることが大切)これに対して、『専門的な人材を育成し、点検についてフルコースにならぬよう費用対効果を高めていく』旨の答弁を引き出しました。今後、このゴミ処理分野全体でのコスト削減に向けて取り組んでいきたいと考えます。

### その他の一般質問

**『実証実験シテイ - 所沢の推進』**(次世代ビジネス支援、イノベーションを生み出す拠点として、(社会的)実証実験で先進的企業との連携といった将来への投資的な質問) **『狭山ヶ丘中学校の『学習環境格差(エアコン設置問題)』の是正』**(防衛省訓令に基づいて、今回保護者代表が環境計量士に依頼して行った調査結果に対する所見と過去からの市長答弁の整合性について質問) **『公共施設マネジメントについて』**(場合によっては『不利益の配分』も享受していただく合意形成に向けて質問)で登壇。

## 『5/26(日)谷口まさのり市政報告会(無料)開催ご案内』

報告会終了後には会場を変えて会費制で食事をしながらの交流会も予定しております。お気軽にご参加下さい。尚、交流会は、ささやかではありますが、引き続き『東北復興応援企画』として、被災県からの食品を揃えての開催を予定しております。

◆ 5/26(日) 14:30~16:30 前後

\* 会場: 狭山ヶ丘コミュニティーセンターの学習室にて(18席)

◆ 谷口まさのり経歴・昭和40年 北海道生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業  
栗田工業(環境系)や省エネのコンサル企業に計15年間在籍(技術営業) ・2011年4月  
所沢市議選に当選(2,644票、みんなの党 公認) ・趣味等: スポーツ観戦、カラオケ、  
大のビール党 ・環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金・労働分野の国家資格)